

かながわの交通 2020 7

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣府特命担当大臣賞)

～こども部門～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

手をあげて 小さな君も 信号機



生田緑地しょうぶ園

(川崎市多摩区)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

○県内の交通事故発生概況(令和2年6月末現在) ○県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死者数	傷者数
令和2年	9,333	71	10,820
令和元年	11,388	67	13,294
増減数	-2,055	+4	-2,474
増減率	-18.0%	+6.0%	-18.6%

	総数	男	女
県人口	9,222,162	4,596,337	4,625,825
免許人口	5,635,875	3,211,722	2,424,153
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和2年6月1日、免許人口は令和2年5月末現在)



ホームページ



夏の交通事故防止運動



期 間 7月11日(土)～7月20日(月)の10日間

目 的 夏のレジャーなどに起因する過労運転や、夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することが懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。



スローガン 安全は 心と時間の ゆとりから
交通ルールを守って 夏を楽しく安全に

重

点

- 1 過労運転・無謀運転の防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止
- 3 自転車の交通事故防止
- 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5 踏切の交通事故防止

【地区交通安全協会新会長紹介(敬称略)】



◎鶴見
大野慶太
(令和2年6月11日付)



◎港南
内倉忠勇
(令和2年5月27日付)



◎中原
伊藤稔
(令和2年5月15日付)



◎相模原
田所豊
(令和2年5月27日付)

二輪車事故防止強化月間の実施結果

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、二輪車事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで推進しました。



(都筑交通安全協会)



(伊勢佐木交通安全協会)

二輪車の関係する事故は、6月末現在の発生件数、負傷者数はいずれも昨年より減少傾向ですが、死者数は増加しております。6月中は死者数、負傷者数も増加しました。6月末現在の二輪車関係死者数の構成率は、昨年30%を下回っていましたが、今年は39.4%でした。

◎ 県内の二輪車事故発生状況(概数)

	6月 中			6月 末		
	発生件数	死 者 数	負傷者数	発生件数	死 者 数	負傷者数
令和2年	497	4	461	2,790	28	2,533
令和元年	502	2	447	3,154	20	2,837
増 減 数	-5	+2	+14	-364	+8	-304
構 成 率	30.6%	40.0%	25.2%	29.9%	39.4%	23.4%

※ 構成率は全交通事故件数、全死者数、全負傷者数に占める二輪車事故の割合

新任事務長紹介 ~よろしくお願いします~

青葉交通安全協会 小野 和久 事務長

初めまして、私は、青葉交通安全協会の事務長に4月から就任いたしました小野和久と申します。今年3月に加賀町警察署を最後に定年退職しました。

私は、青葉区に隣接する、緑警察署、宮前警察署には勤務したことがあります、青葉区で勤務するのは初めてです。青葉区は北に川崎市、西は町田市、東は港北区に囲まれ、公共交通機関が多数走り利便性が高く、道路交通網も東名高速道路、国道246号など主要道路が多数往来する田園都市であります。

住んでいる方も横浜市では、港北区に次いで2位の人口を擁し、当協会来場者も1日当たり200人を超えると聞いており、新たな環境で勤務する事に期待を膨らませておりました。ところが、私が就任して間もない、4月15日から全世界に蔓延しているコロナウイルス感染予防対策措置として、神奈川県にも「緊急対策」が実施され、運転免許の更新業務も休止となってしまいました。

コロナウイルス感染予防対策が実施されていたため「3密」にならぬよう、学校閉鎖や各企業の活動自粛に伴う在宅勤務等が行われてきました。

今、私達が出来る事は、運転免許業務が再開された際に、更新手続きの来訪者が多数予想されることから、密閉空間、密集場所、密接場面を避けるために必要な感染予防対策に創意工夫を凝らし、コロナウイルス感染が終息するまで、気を引き締めて窓口業務を行っていきたいと思います。



TSマーク貼付推進優秀自転車 安全整備店の表彰 (令和元年度中)

サイクルオリンピック …… 川崎鹿島田店、鶴見中央店、平塚湘南店、
綱島樽町店、東戸塚店、今宿店、
港北ニュータウン店
スパーク ………………瀬谷店
ダイワサイクル ………………幸店、宮前店、相模原店、川崎野川店、
青葉店、川崎多摩店
サイクルスタジオ・シルバーリングアリオ橋本店

点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは15店舗が選ばれました。

各店舗には県協会の長澤事務局長等が赴いて、(公財)日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長等に伝達(写真)したところ、「自転車条例により、自転車保険への関心が高まっています。これからもTSマークの普及を通じて自転車の交通事故防止、補償等についてアドバイスをしていきたい。」など受賞の喜びを語っていました。



(鶴見中央店)

令和元年度交通安全ファミリー作文コンクール入賞作品の紹介

《高校生・一般の部：佳作（警察庁交通局長賞）》

私の決意

神奈川県鎌倉市 郷右近 夏美（高校生 十歳代）（敬称略）

大切な人を失うのがどういうことか。それも、何の前触れもなく突然その命が奪われたとしたら。経験のない私にはわからない。

私が池袋の事故を知ったのは、学校から帰る電車の中だった。「東京・池袋の事故で母子二人死亡」という見出しを何気なくタップする。私はこんな都会の真ん中でひどい事故が起きたものだ、と思った。

「池袋の事故、見た？」

家に帰ると母は私に聞いた。私が見たよ、と答えると母はテレビをつけた。ちょうど夕方のニュース番組では、その事故が取り上げられている。

「こんな都会で暴走なんて、危ないよね。」

「そうだね。運転手の人、持病でもあったのかな？」

私と母はそう話していた。

「悔しくて悔しくて仕方がありません。」

遺族の男性は震える声でそう言った。テレビ画面に映されたのは、綺麗で優しそうなお母さんと笑顔の可愛い女の子が幸せそうに写る写真。ニュースを見ていてこんなに胸がぎゅっと押しつぶされるような思いをしたのは初めてだった。もし私がこの立場だったら、二度と会えない絶望と加害者への憎しみが心を支配するだろう。だが男性は見るだけで辛いであろう写真を公開し、妻子と私たち皆の未来のために訴えた。

「この画像を見て、必死に生きていた若い女性と、たった三年しか生きられなかつた命があつたんだということを現実的に感じてほしい。」

「少しでも交通事故による犠牲者がいなくなる未来になってほしい。」

大切な二人は決して帰って来ない。男性は一体どれだけの悔しさを押さえつけてこの言葉を紡いだのか。私は、一人でその会見を見ながら涙を止めることができなかった。

この事故をきっかけに世間の高齢運転者に対する意識は少なからず変ったと感じている。だが、それ以前にも高齢者による自動車事故は頻発していた。人間は過ちを犯さなければ学ばない、どこかで聞いたことがある。でも輝く未来を描いていた二人の犠牲がその役割を果たすなんて、あまりに悲しすぎると私は思った。

「本当に、かわいそうだね。一番可愛い頃だろうに。」

翌朝、母もそう言ってニュースを見ながら鼻を啜っていた。

それからも私は遺族の男性が行動を起こすたびに記事をチェックした。公開されたホームビデオには、女の子とお母さんのサプライズに感動の涙をこらえられなかつたお父さんが写っていた。お父さんにそつと抱きついた小さくて愛らしい姿は、私の目に焼き付いて離れない。

「気を付けてね。」

私は、そのビデオを見てからこの言葉をよく使うようになった。単身赴任している父が赴任先へ帰る時や、弟が自転車で部活に行く時、私はそう言って送り出す。少しでもいい。少しでも大切な家族を守ができるなら、と思っての声掛けだ。私はあの亡くなった親子のことも、絶望の中で必死に声を上げたお父さんのこととも決して忘れない。そして将来私が車を運転するなら、誰かにとって大切な人の命を奪わないように安全運転をしなければ、と強く強く心に決めている。



交通事故の悲劇に学ぶ⑧

●「慢心のその先」 家電配達業（22歳）

あの時の私は仕事に追われ、毎日車を運転していました。運転には自信があると思っていましたが、その年の7月、私は重大な事故を起こしてしまいました。

当日は朝6時に家を出て、外回りの仕事を終え、会社に戻るという、いつもと変わりない1日のはずでした。この日はいつもより早めに仕事が終わり、気分も少しだけ高ぶっていましたが高速道路を降り、一般道に出た後、眠気を感じました。すぐそこの道の駅で1時間半ほど眠り、起きたのは22時を超えていました。「早く会社に戻って明日の準備をしなければ」と思い、急いで運転を始めました。当時の私は毎日仕事が続いていました。「仕事を早く終わらせればその分早く帰れる」と思い、運転中に翌日の仕事のことを考えることもありました。この日も片側1車線の道路で見晴らしも良いいいつの道を翌日の仕事のことを考えながら運転していました。

そして交差点に差し掛かる時、黄色点滅の信号のところに車がいるのを確認したものの、その車が止まっているとは思わず、そのまま直進していました。

はっと気づいた時には、車が目の前に迫っており、ブレーキを踏みましたが間に合わず、車とぶつかりました。さらに横断歩道にいた歩行者2人にもぶつかり、自車はコンクリートに接触してようやく停車しました。私はすぐに110番通報しました。その後自宅に戻りましたが、この時まさか被害者の方が亡くなるとは思っていませんでした。

次の日に親に連絡があり、被害者の方が亡くなられたと聞いた時は目の前が真っ白になりました。警察の方々に被害者、ご遺族の方の連絡先を聞き、謝罪に行くと、無表情で言葉を発するご遺族を見て「人を殺してしまった」と改めて実感しました。

しかし、在宅起訴になり、裁判をしている間に私はあろうとか無免許運転をしてしまったのです。「ちょっとだけだから」、「少しだけ」、「気を使っていれば事故なんてもうしない」と自分を過信してしまったのです。その結果、無免許運転でも裁判を受け、私は自動車運転過失致死傷、道路交通法違反の罪で禁錮1年8月の実刑判決を受けました。



イラストは本文とは関係ありません

そして現在、市原刑務所で受刑中です。ご遺族への賠償もまだ出来ておらず、自分の家族が手続きをしてくれています。市原刑務所に来て改善指導を受け、自分がしてしまったことの重大さ、ご遺族の苦しみ、自分の過信がどれだけ周りの人を苦しめるのか、改めて実感しています。刑務所に入るまではあまり実感がなく、「運が悪かっただけだ」などと思っていたが、改善指導を受けるにつれて、自分のしたことの重大さ、人の命を奪うことがどれだけのことかを思い知りました。今は被害者並びにご遺族に大変な思いをさせてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。自分の過信や慢心、危機意識の低さにより、色々な人に迷惑をかけてしまったことを今更ながら学びました。謝罪をしても人の命は戻ってこない、残されたご遺族の悲しい気持ちや怒りの気持ちはずつと残る、自分の慢心ひとつでこれだけのことが起こってしまった。今更ながら感じている自分がいます。出所後もこの気持ちを忘れず、被害者並びにご遺族の方には一生償っていきたいと思っています。そして、自分の周りの人たち、被害者、ご遺族、色々な人たちを巻き込んでしまい、一生消えることの無い事件を起こしてしまった罪を心に刻み、果たすべき責任を必ず果たし、もう二度と慢心しない覚悟でいます。

この人

171



加藤
恒雄
さん



都筑区は、緑区と港北区の一部を合わせ、平成6年に港北ニュータウンとして開発され、誕生後25年が過ぎました。

旧来の農業地区があるかと思えば、モダンなマンションや大型商業施設も混在し、横浜市営地下鉄ブルーラインとグリーンラインが走るなど、人口も増加傾向となっています。

保土ヶ谷バイパスの渋滞解消策として、既に開通している横浜環状北線と横浜環状北西線が東名高速横浜青葉インターチェンジから生麦ジャンクションに繋がった(令和2年3月開通)ことで、今後は交通事故の増加も懸念されるところです。

都筑交通安全協会は、平成6年、都筑区が誕生すると同時に発足し、平成12年5月に都筑警察署が新設されたのを機に、事務所を警察署内に移転しました。

加藤恒雄会長は、都筑区が誕生する前の緑区に生まれたため、昭和58年から緑交通安全協会に加入していましたが、都筑交通安全協会が発足すると

同時に移行し、平成27年6月に三代目会長に就任いたしました。

若い時から地域のためにと、造園業を営みながら、交通安全の他、保護司、神奈川県薬物乱用防止指導員と多くの重責を担い、会議やキャンペーンなど日々休む暇もなく、ボランティア活動に取り組んでいます。

また、「交通安全は区民全体の問題」「事故防止は、警察・区役所・関係機関や団体との連携が必要」を念頭に、悲惨な交通事故を1件でも無くしたいとの強い信念を持って活動しています。

普段は、高齢者の事故防止と子供の自転車事故防止に力を入れており、老人会や地元の小学校に赴き、率先垂範で交通安全を呼び掛けています。

公私にわたり多忙な会長には、安心・安全な都筑区をめざし、引き続きご活躍されることを心より願っています。

(取材協力：都筑交通安全協会)

こんにちは 「泉交通安全協会」です

泉交通安全協会では、八巻会長をはじめ指導員や支部員167名がボランティアで学校等の交通安全教室や街頭指導、地域のイベントでの交通誘導などに、熱心に取り組んでいます。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動自粛で始まり、今後暫くはウイズコロナの生活の中で、活動をしなければなりません。

当協会は10年前から事故情報のメール配信を始めており、現在はグーグルマップでの人身交通事故情報の提供も実施しております。今回は、改めてこ

のような情報発信の有用性が確認できた事から、今後の交通安全教育等においても新しい暮らし方の中にどう取り入れていくかを考える時期なのではと思っています。

0か1のデジタルな情報の間を埋めるのは人と人との繋がりです。森林における樹木が、その根についた菌糸を通して情報をやり取りしているという説があり、菌糸でつながる情報を共有しながら、個性あふれる樹木が森林を守る静かな生活は、人間生活にも当てはまる気がします。大事な情報を底辺にしつかり持ち、その情報をもとに経験豊富なボランティアの方々が知恵を使い、人と人の間を埋め



る活動を通して地域の安全安心の意識を高めていく。それが、安全協会の使命だとも思っております。

そして、このボランティア活動を支えるために、西に素晴らしい富士を見ることができる事務所で、笑顔あふれる職員が皆さまをお待ちしております。

(櫻井 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ =

地区交通安全協会の活動紹介



座 間 相模が丘での自転車交通事故防止キャンペーン



保土ヶ谷 警察署前での自転車街頭点検



宮 前 区役所前交差点での二輪車交通事故防止キャンペーン



津久井 鳥居原ふれあいの館で二輪車交通事故防止キャンペーン

交通安全活動



都筑 北山田駅前での交通事故防止キャンペーン



伊勢佐木 横浜橋交番前での二輪車交通事故防止キャンペーン



高津 溝口交差点での交通安全キャンペーン



大船 砂押橋交差点での二輪車交通事故防止キャンペーン

贊助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)横浜メディアド ————— 横浜市神奈川区栄町
 - 日産自動車(株)テクニカルセンター ————— 厚木市岡津古久
 - ダイドードリンコ(株)首都圏第一営業部 ————— 横浜市港南区丸山台

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。